

公益社団法人 海津市シルバー人材センター
平成30年度 事業報告

国内景気は、中国向け輸出の減速や自動車関連の低迷に加え、人手不足やコスト負担増も悪影響を及ぼし、後退局面入りの兆しが見られています。また、今後は設備投資や個人消費が下支えする一方、消費税率引き上げ後の消費落ち込みや海外リスクの高まりが懸念され、不透明感が一層高まっています。

雇用情勢では、有効求人倍率においては、岐阜県では全国平均を大きく上回る水準で推移していますが、高齢者の就業についてはまだまだ厳しい状況が続いています。

このような状況下において、当センターは設立以来、高齢者の就業機会を確保すると共に、高齢者の福祉増進に努めてまいりました。

平成30年度受託事業の受注件数は、前年度より微減の1,219件で、契約額においても前年度より2,409千円減の155,769千円となりました。また、会員数については、昨年度は20名という大幅な減でしたが、本年度も昨年度より21名減少し、371名となりました。

また、労働者派遣事業の受注件数は2件増の11件で、派遣延人員が659人日増の3,860人日となり、契約金額と共に前年度に比較して大きく増加しました。

この結果、受託事業では減となったものの、引き続き派遣事業が大幅に伸びたため、全体としての契約金額は179,634千円となり、4,224千円ほど前年度を上回る事ができました。これもひとえに、今日までご支援をいただいた市民の皆さん、事業所の方々、行政のご支援の賜物と感謝しております。

センターを取り巻く環境は、依然厳しい状況にありますが、地域にとってますます求められる存在になってきていると思います。課題となっている会員の拡大や就業機会の開拓に引き続き取り組み、センターに求められている役割や使命を認識して更に信頼されるセンターをめざしてまいります。

以下、平成30年度の事業概要について報告します。

1. 事業実績

区 分	平成30年度	平成29年度	比 較
(1) 会 員 数	371名	392名	△21名
男 性	220名	226名	△6名
女 性	151名	166名	△15名
(2) 受託事業受注件数	1,219件	1,248件	△29件
公 共	61件	68件	△7件
民 間	1,158件	1,180件	△22件
(3) 受託事業契約金額	155,769,588円	158,178,694円	△2,409,106円
公 共	95,085,633円	93,000,052円	2,085,581円
民 間	60,683,955円	65,178,642円	△4,494,687円

	内配分金	139,628,739円	142,430,654円	△2,801,915円
	内材料費等	9,216,365円	8,714,219円	502,146円
	内事務費	6,924,484円	7,033,821円	△109,337円
(4)	派遣事業受託件数	11件	9件	2件
	公 共	6件	4件	2件
	民 間	5件	5件	0件
(5)	派遣事業契約金額	23,864,933円	17,233,644円	6,631,289円
	公 共	10,333,112円	6,933,913円	3,399,199円
	民 間	13,531,821円	10,299,731円	3,232,090円
(6)	就業延人員	35,996人日	36,975人日	△979人日
	就業実人員	332人	350人	△18人
(7)	就 業 率	89.5%	89.3%	0.2%
(8)	賛助会員数	19	20	△1

2. 実施状況

(1) 普及啓発事業

- ① センター事業をより深く理解していただくために、広報誌「いきがい」第15号（9月1日発行）を市内全戸に配布するとともに、海津市の広報紙（5月号、7月号、9月号、11月号、1月号、3月号）に有料広告を掲載、チラシ（10月）を市広報紙に折り込みし、新規受注等の開拓と会員の加入促進を図りました。
 - ・ 広報誌発行編集委員会 7月19日、8月2日、8月9日
- ② ホームページの掲載

携帯電話からもアクセスができ、会員募集から仕事の依頼手続き方法までを分かりやすく表示したホームページを開設しています。なお、ホームページの内容は、随時更新を行いました。
- ③ 市内各公共施設にセンターのPR用ポスターを掲示するとともに、海津市産業感謝祭においてPRブースを設けて普及啓発に努めました。

(2) 安全・適正就業の推進

- ① 重篤事故を二度と繰り返さない為に、就業会員に対して安全意識の高揚に努めました。また、安全・適正就業委員会では、安全措置が不備な就業会員にイエローカードを発行する制度を導入しており、引き続きその啓発に努めています。さらに、巡回パトロールを実施して就業会員とともに安全保護具等の必要性を再確認しました。
 - 安全・適正就業委員会及び巡回パトロール
 - ・ 安全・適正就業委員会を4回開催

6月22日、9月19日、12月19日、3月20日
 - ・ 巡回パトロールを3回実施

- ② 剪定技術の向上及び習得のため、全会員に募集案内し剪定講習会を開催しました
- ・ 3月27日 海津市文化センター（テキスト講習）
海津図書館及び歴史民俗資料館・日新中学校
（実技講習） 参加者 32名

（3）調査研究

発注者及び会員に対する意向調査（アンケート）を実施しました。

発注者	発送部数	480部	回収部数	176部	回収率	36.7%
会員	発送部数	370部	回収部数	191部	回収率	51.6%

（4）就業分野の開拓・拡大

より多くの会員が就業機会の提供を受けられるよう、新規事業の開拓及び就業率の向上を目指した結果、0.2%の増でした。

（5）相談・情報提供

入会を希望する高齢者を対象にした入会説明会を地区毎に実施しました。また、シルバー人材センター事務局の窓口では、随時、相談者に対して説明を行いました。

- ・ 平田地区 5月 8日、8月14日、11月13日、2月12日
- ・ 海津地区 6月12日、9月11日、12月11日、3月12日
- ・ 南濃地区 4月10日、7月10日、10月 9日、1月 8日

（開催場所 平田：やすらぎ会館 海津：ひまわり会館 南濃：ゆとりの森会館）

（6）社会参加活動の推進

会員が、健康で働く喜びと生きがいを持ち、地域社会への奉仕活動に努めるため、会員参加型の清掃奉仕ボランティア活動を、全会員に募集案内し実施しました。

- ・ 3月19日 木曾三川公園と治水神社周辺の清掃活動

参加者 41名

（7）研修・講習事業

- ① 役員研修 3月 6日

地域の会員活動などの事業活動の参考にするため、活発に活動している公益社団法人高島市シルバー人材センター（滋賀県高島市）を訪問し研修を行いました。

- ② 「放課後児童支援員研修会」（海津市と合同）

- ・ 12月18日 海津総合福祉会館（ひまわり）

（8）シルバー派遣事業

会員の新たな就業形態の一つとして、シルバー派遣事業を積極的に推進し、事業の拡大に努めました。前年度と比較して受注件数は2件増え、派遣延人員も大きく増加しました。

- ・ 受注件数 11件 (2件 増)
- ・ 派遣延人員数 3,860人日 (659人日 増)

(9) 要請活動

シルバー事業の更なる発展が図れるよう、支援と助成を要請しました。

- ・ 海津市長及び海津市議会議長への要請活動 9月 3日
(岐阜県並びに岐阜県シルバー人材センター連合会とともに実施)
- ・ 海津市長への要請活動 10月 1日

(10) 職業紹介事業

公益社団法人岐阜県シルバー人材センター連合会の海津事務所として事業を実施。実績0件。

(11) 会員の拡大等

総務企画委員会を4回開催し、本年度は特に事務費率の改定や補助金の関係を中心に協議しました。その結果、平成31年度作業実施分より、事務費を公共・民間共8%に引き上げました。

7月20日、 9月 7日、 10月31日、 3月26日

(12) 会議等

① 社員総会

- ・ 定時社員総会 5月28日 海津農村環境改善センター

② 理事会

- ・ 理事会 4月26日、 5月28日、 7月12日、 8月10日、
9月12日、10月12日、11月12日、12月13日、
1月15日、 2月13日、 3月14日 (計11回)

③ 会計監査

- ・ 29年度会計分監査 4月23日
- ・ 30年度会計中間監査 11月 5日

④ その他主な会議(理事長・事務局長等参加)

- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会 理事会(理事長)
5月30日、 9月26日、11月16日 (岐阜市)
- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会 事務局長会議
5月22日、12月 5日、 3月 8日 (岐阜市)
- ・ 東海シルバー人材センター等連絡協議会総会(理事長・事務局長)
6月14日～15日 (静岡県浜松市)
- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会総会(理事長・事務局長)
6月20日 (岐阜市)
- ・ 岐阜県シルバー人材センター連合会役職員研修(理事長・事務局長)
10月10日 (岐阜市)

<事業報告の附属明細書>

平成30年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、公益社団法人海津市シルバー人材センター定款第43条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。